

◎ 生活・総合的な学習部門

1 行事及び内容

(1) 第1回研究委員会

- ① 日時：平成30年6月26日（火）15：30～17：00
- ② 場所：天草教育会館
- ③ 内容：ア 平成29年度活動報告
イ 平成30年度事業計画
ウ 研究発表会概略打ち合わせ

(2) 第2回研究委員会（研究発表会）

- ① 日時：平成30年8月24日（金）13：30～15：50
- ② 場所：上天草市松島総合センター「アロマ」2階視聴覚室
- ③ 内容：ア 実践発表
研究テーマ：生活科・総合的な学習の時間「つながりがわかる子どもを目指して」
発表者：苓北町立富岡小学校 杉原 智世教諭
イ 講話
演題「これからの学びに向けた授業改善」
講師：県立教育センター 前田 理代指導主事
- ④ 参加者数：23人

(3) 第3回研究委員会

- ① 日時：平成31年2月5日（火）15：30～16：30
- ② 場所：天草教育会館
- ③ 内容：ア 平成30年度事業のまとめについて
イ 来年度への志向について

2 本年度の研究について

本年度は「生活科・総合的な学習」部門の研究発表会開催年であった。本年度の研究テーマを昨年度に引き続き「新学習指導要領『生活科』『総合的な学習の時間』における3つの柱の具体化の研究～主体的・対話的で深い学びの実現をめざす授業改革～」として、この1年間研究に取り組んできた。

夏の研究発表会では、小学校における生活科及び総合的な学習の時間について実践発表があった。体験学習を基盤とした生活科の学習を地域や人とのつながりを明確にした総合的な学習の時間へ系統性をもってつないであった。また、県立教育センターのスクールサポート事業を活用した講話では、「未来の社会と未来の自分を想像しながら『生きる力』を育む責任をもった総合的な学習の時間の在り方」が提唱された。総合的な学習の目標である「探求的な見方・考え方」が具体的にどういうものであるか理論的に学ぶことができた。

新学習指導要領の全面実施を控え、実践発表も講話も参加者にとってタイムリーであり、大変わかりやすい内容であった。「これからの授業改善に、ぜひ生かしていきたい」との声が数多く聞かれ、本年度の研究発表の成果を確信することができた。

3 今後の課題

「生活科」「総合的な学習の時間」は自ら課題を見つけ、考え、解決していく力を培う重要な教科・領域である。これまでの研究の成果をもう一度振り返るとともに、新しい教育観についても、この部門で何ができるのかを追求していきたい。

今年度の研究発表会には、部門所属教員が積極的に参加することができた。来年度の開催時期については、8月後半ではなく8月前半に計画して、より多くの参加を促したい。